



3・20国際ーri東京芝公園

再び戦争と暗黒政治許さず 50万署名を5月の国会へ



No.358

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連
会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
振替 00110 6 97793
定価 50円

主 な 記 事

第二回中央常任理事会決定	2
国家公務員法弾圧事件	3
顕彰碑・福井県 いしずえの碑	4
時の焦点・イラク戦争一周年	5
抵抗の群像・杉山勇蔵さん逝く	5
同盟歌壇・碓田のぼる選	6
書棚・『生きる証に』	7
事務局日誌	7

イラク戦争から一年。「テロとの戦争」をしかけた米ブッシュ政権の戦争政策は大きく破綻し、3月20日には、「占領やめる」のデモがローマで二百万人、ロンドンで十万人、アメリカで数十万人と全世界でくりひろげられました。日本でもこの日、全国数十万のデモ、集会が開かれ、「自衛隊の即時撤退」「国連による復興」「イラク国民に主権の返還」が強く要求されました。

しかし、いち早くアメリカに追隨した小泉内閣は、憲法破壊の自衛隊イラク派兵に続き、国民を戦争に動員する「国民保護法案」など有事関連法案を国会に提出。一方、3月3日には、「しんぶん赤旗号外」の配布者に対して、国家公務員法違反を理由に公安警察が不当逮捕。労働者・国民の言論の自由、政治活動の自由に対する露骨な干渉・妨害をつよめています。

今、連日国賠署名に奮闘している私たち同盟の運動は、平和と民主主義のために、戦前に命がけで闘ってきた先輩たちへの人権救済と謝罪を国に要求するたたかいであり、憲法をまもる国民的なたたかいの一翼をになうものです。ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために、5月18日の国会請願までにあと一ヵ月、全同盟員が団結して署名50万実現に全力をあげようではありませんか。

5・18国会請願にむけて 全同盟員の決起で50万署名達成へ

第二回中央常任理事会決定(3月17日)

新春以来、五〇万署名の達成と、多喜二、山宣、野呂、西田、相沢、市川ら犠牲者・先覚者の顕彰、三・一五、四・一六弾圧反対などの活動に取り組んできた同盟は、三月十六日の拡大組織部会につづいて開かれた十七日の中央常任理事会で、五月十八日(火)の国会請願の成功めざし、五〇万署名をやりぬく。来年の大会までに同盟員拡大の自主目標を達成するとの方針を討議決定し、①全同盟員に総決起の訴えを出し、②ピラマキ弾圧への抗議を行いました。

①再び戦争と暗黒政治許さぬ署名の訴えを

三月中旬までに全国の署名総数は二〇万筆を越えました。都道府県の前頭を切っている秋田市では、八〇%の会員が署名を集め、目標の一万四千筆を越え一万五千筆(有権者比五%)を達成し県全体で多喜二展二一八〇〇人参加)を成功させました。これに続いて

茨城、高知、青森など一〇〇%をめぐっています。しかし三〇%以下の府県もまだ半数近く残されており、五〇万目標達成は容易ではありません。

今日の情勢の下で、各県本部が署名目標の残をやりぬく決意と方針をもち、多くの同盟員が署名に立上れば、あと二カ月で目標達成は可能です。東大阪市では、3・12重税反対行動で二七四五筆を増やし立ちおくれ克服へ頑張っています。イラクからの撤兵を要求する3・20国際反戦行動には、同盟もその先頭に立ち署名を訴えました。

アメリカの侵略・占領に加担する自衛隊のイラク派兵、米軍を支援し国民を戦争に総動員する有事法制、日の丸、君が代の生徒への強制、憲法九条改悪策動、これらに反対する公務員のピラマキ弾圧などの動きに「戦前の治安維持法の現代版だ」と抗議の声が全国に広がっています。今こそ同盟出番

のときです。「再び戦争と暗黒政治許さぬ」旗をさらに高くかかげ、戦前、戦争に反対し生命がけで闘った治安維持法犠牲者に謝罪と賠償をするよう政府に迫り、全同盟員が署名用紙とリーフをもち、あらゆるつながりを生かして説得宣伝活動を強めましょう。

②来年の全国大会めざし会員の拡大をすすめよう

第二に、同盟にとつて焦眉の急となつている会員拡大運動を軌道にのせることが重要です。

地域で影響力の大きい同盟幹部の高齢化、病氣、死去などにより、立て直しや再建を迫られている組織が出ています。入会申込書を積極的に活用し、より若い層にむけて会員拡大を大胆にすすめ、都道府県本部・支部に組織活動の経験をもった活力ある活動家を配置し、同盟組織を活性化させることが必要です。

昨年、福岡では百人、京都で四十人、東京板橋では十六人が同盟に入会し、生き生きと活動に参加しています。

福岡の大牟田では二人の同盟員を二年間で三七人に拡大しました



都の公立学校の卒業式では教師は席まで指定されており、「君ヶ代」斉唱時、口を開いているか？

声が出ているか？ をチェックされた、今年の卒業式の異常な情景「退職という道を選びました」と苦渋の選択をした女性音楽教師もいた 都議会で「私はあの憲法を認めません」と妄言した石原都知事は今年八〇〇名もの都教委を各学校に派遣し、二〇〇名の教師が処分された まさに卒業式の現場は戦前そのもの 九九年、政府は国旗国歌法の国会審議での答弁で「決して強制することはない」と言い切ったはず しかるにそれまで卒業式の「国旗掲揚、国歌斉唱」実施が七・二%であったものが国旗国歌法制定後の翌年には八八・五%に跳ね上がっている 憲法で保障されている「内心の自由」を踏みじつた露骨な石原都知事の教育行政に對し、さすがに強い反発が起きている 都教組が抗議をし、都立板橋高校では大部分の生徒が起立しなかった。(倉)

た。すべての同盟組織が会員拡大目標をもち対象者をあげ、加入を訴えることが必要です。

③ 八月ジュネーブでの国連要請活動への参加を募ります。現在福岡九人、大阪二人、東京五人が参加予定。

④ 七月に全国各地で開催される「平和のための戦争展」の準備をすすめる。

⑤ 「会費納入」など年度末財政強化のために力をつくす。

⑥ 参院選革新勝利に全力をあげる。

⑦ 国際部の体制補強について体調を崩した平沢直義氏の辞任を認め、部員を補強し、左の新体制を決めました。

部長・斉藤久枝、部員・抑河瀬精、島袋達男、児島初子、高野五郎、中村洋子。

⑧ 中央常任理事会は、常任理事・鹿児島県本部事務局長として同盟活動に貢献された牧之内淳氏の死去を悼み、慎んで黙祷をささげました。



国会請願

五月十八日十一時開会 衆議院第一議員会館第一会議室

野呂、西田、多喜二らの遺志を受けつぎ目標五万達成へ

北海道

北海道では、野呂没後七〇周年記念の墓・碑前祭、集会などに二五〇人が集い、西田信春、小林多喜二など道出身の先覚者の顕彰活

動をすすめる。三月始めに目標の五〇%を越えた署名運動をさらに飛躍させ、五万目標達成の決意を固めています。二千五百目標を突破した小樽支部は目標を三千に引き上げ、班体制を作った苫小牧支部は、会員に親しく声をかけて署名をすすめる、目標の百%に近づいていま

す。

五千の目標をかかげる道南、道北の二大支部は、支部長の病気などの困難で二〇%前後に止まっていた遅れをばん回するために、三月、体制を補強し、労組団体への協力依頼も強め前進を開始しています。

目標五千では少い、一万以上めざす新たな取りくみ

島根

常任理事会での報告を聞き、会議の途中で県の三役に電話をし、緊急に対策会議をもつことを決めました。島根の署名は五〇%に近づいているが目標が五千では少ない、一万以上やろう。「中林さん（前衆議院議員）落選で紹介議員も減り、頑張らなければ」と話しあいました。

「赤旗」号外のピラマキ弾圧に

は直ちに金森会長名で抗議の電報を打ちました。日の丸と軍艦マーチで、自衛隊がイラクに出発している。しかし「戦争に協力しない会」がお寺さんに組織されていて、五十人、百人と署名をもらった。キリスト教会、連合系の市職組や、県職組などの協力も得ました。

去年は京都へ、今年は信州へ、

歴史探訪ツアーが好評で、この中で同盟会員を五人増やしました。『治安維持法と現代』を大量購入して学習を強め同盟ビデオ見る会を活発に開き、署名目標を達成し、会員拡大をすすめます。

松本市長選勝利の力で
三万署名目標達成へ

長野

共産党（市議六人）と無所属一人を中心に団結し、田中知事の支援を得た、明るい松本市を作る会」の菅谷候補が、四万七千票対三万八千票で、自、公、民、連合市職労推せんの現職を破り当選。この勝利に確信をもち、過去最高の署名実績三万目標（有権者比二%）をやりぬく決意です。

しかし県の支部ごとのアンパランスの克服が課題です。

五千目標の長野支部では五〇%を越え、上小・更埴七〇%、中信七〇%を越えています。他は未だ百、二百台で、支部長などの高齢化、死亡で立ちおくれています。

若手の事務局長を補充するなど体制を強めて、何としてもやりぬく決意です。

三月三日警視庁公安部は厚生労働省社会保険庁目黒社会保険事務所の堀越明男さんを逮捕、日本共産党東京千代田地区委員会をはじめ六カ所家宅搜索し、五日、東京地方検察庁は起訴しました。

去年総選挙直前の十月の休日に、堀越さんが東京中央区の自宅付近で、「しんぶん赤旗」号外ビラを配ったことが、「国家公務員法違反」とする理由。

勤務時間外は市民的自由

憲法11条 国民はすべての基本的人権の享有を妨げない。

13条 すべての国民は個人として尊重される。

15条 すべての公務員は全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではない。

19条 思想および良心の自由はこれを侵してはならない。

21条 集会・結社、および言論出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。

この一連の憲法の規定にもとづけば、本来公務員も基本的人権が保障されていて、「勤務時間中は不偏不党。時間外は市民的自由」が社会通念であるはずですが、

一方、今回公安警察が不当弾圧の根拠としたのが、「国家公務員法百二条」と、「人事院規則の政治的行為の禁止」条項。占領下マツカーサー書簡と政令で大多数の国民はもちろん、一般公務員自身もとかく知らされないできた、違憲法規であつたのです。

国家公務員法百二条 職員は政党または政治的目的のために寄付金その他利益を求め……あるいは選挙権の行使を除くほか人事院規則で定める政治的行為

国家公務員法弾圧事件

解説

をしてはならない。職員は政党その他の政治的団体の役員、政治的顧問その他これらと同様な役割をもつ構成員となることはできない。

これを受けて人事院規則は禁止すべき政治的行為の具体的事例を、入党勧誘、機関紙配付、署名運動、街頭宣伝、演劇活動、旗・腕章の作成配布など十七項目にわたって列記しています。

なぜ「赤旗」と「公務員」をスペインの政変に象徴されるよ

うに、今日米英軍のイラク侵略と占領統治に反発する国際世論は高まり、内外情勢は激変・好転しつつあります。

権力犯罪である北海道警組織ぐるみの裏金づくり。違法な政治献金をめぐる自民党と日歯連との黒い癒着。公明党・創価学会幹部も共謀したヤフー顧客名簿大量流出事件。相つぐ民主党代議士の学歴詐称と秘書給与詐欺事件。政党助成金依存に加えてリストラ難航の社民党。こうした不祥事続出の政

界にあつて、昨今の中間選挙では、いわば無傷で新綱領を身につけた日本共産党がいちじるしく復調をとげてきています。

参議院選挙を直前に国民の眼を眩惑させて日本共産党の失地回復への勢いを、公務員の政治活動と「しんぶん赤旗」の両面から阻もうとする政治謀略。

イラク出兵の強行、国民保護法制など有事立法の上程、改悪憲法草案の準備の段階での国民の抵抗力の排除。

この謀略と手法に、治安維持法

体制の再来の危機を感じます。
起訴取消しと法廷闘争で

当面の目標は起訴の取消しと法廷闘争での違憲性の証明。すでにいち早く自由法曹団は全力をあげてたたかうことを決議し、わが同盟も「歴史の歯車を逆行させず、憲法と人権の大義をまもつての奮闘」をよびかけました。組織をあげて国民的大運動のなかに身を置こうではありませんか。

「戸別訪問してビラを配布するのは当然の選挙運動。こうした市民の権利は国家公務員にも勤務時間外である限り十分に保障されています。」(フランス・警察労組書記長)

「公務員が政党にはいり活動することは自由です。信条にもとづいて行動することはその人の権利であり、知性の発揮です。公務員には軍人、警官以外、ストライキ権も保障されています。」(エストニア従組連合委員長)

日本を「人権後進国」ときびしく指摘するとともに、弾圧に抗し改革をめざす運動の後押しとなる海外からの発言です。

(山崎元／東京都本部副会長)

顕彰碑

||||| 活動

日本海が眺望できる丘に立つ

福井県

いしずえの碑

「いしずえの碑」は、一九九八年十月十八日、敦賀市杉津(すいづ)の上野寿雄氏から土地の提供をうけ、国民救済会県本部の募金によって建てられました。

「碑」の位置は、国道8号線の敦賀市街より武生・福井方面にむけて車で十五分程の杉津区の中程、右手の東浦小学校前の歩道橋から山側に約一キロメートルの高台にあり、付近には杉、栗、蜜柑の樹も多く清流もあり、とくに日本海が眺望できる素晴らしいところです。

この「碑」には、戦前から日本人民解放のために活動した人を弔



っている東京・青山霊園にある「解放運動無名戦士墓」に合葬されている。福井県ゆかりの人たちを永遠にたえ追悼するために建立されました。

亡くなられた人は「碑」の後の容器に一人ひとりの氏名、没年、年齢、主な経歴などを記した御影石の名板が収められています。建立された日の除幕式に第一回の合同・追悼会を行いました。(83名、二〇〇三年の第六回の追悼会では98名の方が祭られています。

この中には、戦前、プロレタリア作家の小林多喜二と交流のあった詩人の中野鈴子さん(丸岡町出身)の名板も含まれています。この「いしずえの碑」の本碑は、岐阜県の本曾川の中流部の恵那峡から採石された本曾石(重量三トン)。「革新 民主 平和のいしずえ」碑の揮毫者は、日本墨書会会長の西山隆彦先生(福井市)です。(福井県いしずえ会会長 吉田一夫)

【原稿募集】各地の顕彰碑、犠牲者の墓碑の紹介原稿をお寄せください。字数六百字、写真一葉添付ください。編集部

時の焦点

米英軍によるイラクへの侵略戦争開始から一年の三月二十日、日本では全都道府県数百ヶ所で数十万人が行動、「イラク占領をやめよ」、「自衛隊派兵反対」などの声が列島中に響きわたりました。

同日、米英を含めて全世界で集会・デモがおこなわれ、数百万人が戦争反対の声をあげました。一年前のこの日、米英は国連憲章と国際秩序を乱暴に踏み

じつて、世界の一千万をこえる反戦の叫びに背を向けてイラクへの侵略戦争を強行しました。圧倒的な軍事力でバグダッドを占領、五月一日には、ブッシュ

米大統領は「大規模戦闘の終結」を宣言しました。しかし、その後、イラク国民の抵抗、続発するテロで戦況は泥沼の様相を呈しています。多くのイラクの人々、子どもたちが残酷な兵器の犠牲となり、米兵も六百人が戦死しています。戦争の最大の口実「大量破壊兵器」の存在は完全に否定され、捏造された戦争の「大義」は完全に崩壊してしまいました。

イラク戦争1周年

日本の小泉首相は開戦と同時にこの無法な戦争を「支持」し、ついにイラクへの陸海空自衛隊の派兵を強行しました。この対米追従、憲法違反の暴行は、日本国民だけでなく、全世界からの批判をうけとくに従来日本に好意的であった中東諸国の人々の間にも不信と反感を抱かせています。

「3・20」の直前、この戦争に加担していたスペインでは総選挙で戦争反対の野党社会労働党が勝利し、政権にくわ党首サパテロ氏は六月にイラクからの撤兵を公約し、またポーランド大統領も「われわれは作り話でだまされていた」と米英を批判するなど、十一月の大統領選挙を前に米ブッシュ政権も孤立を

め、苦境に追いやられています。まさにこの一年間は、世界中の反戦の声によって、米英の不正義の侵略戦争が浮き彫りにされた一年でした。

「3・20」大行動をさらに新しい跳躍台として、われわれも憲法改悪阻止、有事関連法案撤回、「自衛隊をイラクから返せ」の運動を

抵抗の群像

貧困からの解放を求めて

杉山勇蔵さん

逝く



静岡県本部理事 富田百久

杉山勇蔵さん(県本部顧問)は、一九〇四(明37)年3月9日、静岡県安部郡麻機村東一三〇(現静岡岡市)で5人兄弟の長男として生まれ、小学校を出るとすぐ父母の農業を手伝いながら日雇いなどして家計を支えました。一七歳のとき静岡市電気事業の電気部に勤務、二〇歳で退職。再び農業を手伝いながら、農閑期には日雇いに出て働きました。

そのうち父虎吉さんが博打に手を出すなどして借金をつくり、ついには田畑を競売にかけられ、自作農から小作農になり、貧苦の生活を余儀なくされますが、勇蔵さんは一家を支えてまじめに働きました。

一九二七(昭2)年9月、静岡市北で活動していた賤機春氏のすすめで労農党に加盟しました。勇蔵さんは、持ち前の正義感と

行動力で地元の農民運動に参加し、一九二八年には3・15弾圧反対のピラを静岡市内で配布中に逮捕されたのはじめ、長沼の紡績工場に仲間二三人と反戦平和、労働者の権利守れのピラをまいたり、沼津郊外の小作争議の応援で演説会のピラまき、富士市の岩松や鷹岡町の演説会に参加などして、数日間の拘留、拷問をとまなう取調べを受けました。翌年の4・16弾圧では治安維持法違反の容疑で4月22日に逮捕、家宅捜査をうけ一カ月余の拘留。その間、二日二晩逆さづりにされ、殴る蹴るの拷問を受けましたが、不屈に闘い抜きました。

先頭に立ちました。また旧制静岡高校の学生達の協力を得て、村の神社で社会主義の学習会を組織するなどの活動にも取り組みました。12月24日、東京で開かれた新労農党結成大会には、松田辰雄、松下傳七、山崎剣二らと参加、翌二九(昭4)年には静岡市の勝見下駄工場の労働争議を支援しました。この年の4月の麻機村協議選では、勇蔵さんは労農党公認として闘い得票二〇票台、最下位当選者が七〇票でした。引き続きこの年の4月の静岡市会議員選挙では松田辰雄が労農党公認で立ち、堂々の二位当選を果たしますが、この選挙でも勇蔵さんは文字通り寝食を忘れて闘いました。しかし当選の喜びも束の間、4・16弾圧で松田は議席に着くことなく治安維持法違反で逮捕されました。

当時の麻機村地域では、四人の地主が支配的な力を持ち、村の共有地を管理しても収穫や売り上げなどは小作農民には報告されず、村民の間に強い不満が広がっていました。勇蔵さんは松田辰雄とともに、村の共有地を村民、小作人に開放する村民主化の闘いを組織していきましました。この小作争議は一九三五(昭10)年頃まで粘りつよく闘われ、最終的には、二十数名の組合員には解決金として一戸七〇円の配分が行われました。この金額は当時の杉山家の一年分の生活費に相当する大きな成果でした。

勇蔵さんが生涯でいちばん嬉しかったのは、妻きぬさんとの結婚だったと言います。昭和の初期、嫁も来ないといわれた農村の貧しさに加えて「アカ」といわれるなかで、やっと結婚。妻きぬさんは、共産党のことなど何も知らない嫁さんでしたが、村の駐在所の巡査が勇蔵さんを探りに来たり、特高警察がくると、きぬさんは「勇蔵はいない。本人が来るまで入るな」と家に一歩も入れなかつたと言います。

山の畑で仕事をしている時、小学生の長男が「警察がくるから家に戻らないように」と連絡するため走ってきましました。夕暮れの道を怖々と帰って行く長男の姿は、生前ずっと臉に焼きついていたと言います。きぬさんは一九六三年に病没。勇蔵さんは妻の分まで長生きしようという元気に畑仕事も続けてこられました。が、昨年4月19日、肺炎のため九十九歳で死去されました。同盟では県本部副会長、顧問をつとめられました。

(「不屈」静岡県版03・2、5月号より要約―編集部)

同盟歌壇

碓田のぼる選

京都府 須田 稔

人間として生きたいのです足動けば十歩でもと怒りこめ三月二十日
咲き匂う枝垂れ白梅は清楚なり好戦政治家もここに来て見よ

〔評〕前歌は国際行動日に参加した切実な思いを、よく表現している。
後歌三句以下の原作「の清楚美に好戦政治屋は魅了されるや」

埼玉県 寺島 清文

ひめゆりの生き残り宮尾るりさんの証言静かなれど昨日のごとし
集団自決は自決にあらず強制の「死」でありしとう真実を聞く

〔評〕前歌の下句「静かなれど昨日のごとし」は巧みである。後歌
原作「強制されての「死」でありしと」であつたが、結句補強した。

東京都 若林 義文

イラク派兵を違憲と言わぬマスコミに傘寿怒りの抗議電打つ
うぐいすの初音を聞きぬほんのりと森の梢も芽吹きくる色

〔評〕マスコミも体制に屈服したのか、と老いの怒りを表現。二首
目の原作二句は「聞けば」、結句は「色付きはじむ」であつた。し
かし、「色付きはじむ」はイメージ不足である。

静岡県 江川 佐一

こよなくも愛し止まざりし曼珠沙華・蘭の花咲くも見ずに逝かれし
虎杖を煮て食べることも教わりぬ山原さんは味をわねにたまわる

〔評〕山原健二郎さんを悼む歌である。前歌、山原さんの愛し歌つ
た花によせて。後歌原作「食べる味知らしむる山原さんの味われた
まわるる」であつたが、少し言葉の整理をした。

俳句

遺骨なき兄自決の島の山桜

和歌山県 山本長生



『生きる証に』を読む

『生きる証に』は、柳河瀬弘子

さんの遺歌集である。新日本歌人
協会に入会されたのは二〇〇〇年

であるから、生前私は著者にはお
会いしていない。しかし、この歌

集に流れている作品の巧拙をこえ
た人間としてのやさしさや、現実

の困難にひるむことなく、明日を
信じて、病いとたたかい続けた姿

は、旧知のような思いにさせられ
るのである。

ま夜中にひよろひよろ歩む人も
ありガン病棟の眠りは浅し

独りにて生きる覚悟を夫に言う
残雪ふみてのぼりゆく丘

前歌の「眠りは浅し」には、ガ
ンを病む人びとの心の世界を一言

で表現しているし、また後歌では、
亡き後の「生きる覚悟」を夫にう

ながしている、何とも痛切な思い
の歌である。それでいて、表現の

世界は冷静で、たしかな現実感に
支えられているのである。それこ

そ思想といえるものであろう。
短歌表現におけるこうした観照

の深さは、この歌集の中にさまざ

まに見出すことができる。

死の間際呆けし父が兄を呼ぶ戦
病死せし十九の兄を

「白木の箱」に入りしものは骨
か石か父は遂に証さず逝きぬ

たとえば、これらの作品では、
過去が単なる回想とならず、今日

の現実がその背後に、たしかかな形
でおさえられていることを感ずる

のである。

歌集『生きる証に』は、著者が
「あとがき」まで書いて準備しな

がら、その刊行を遂に見ることが
できなかった。その無念さを感じる。

しかし、ガンとたたかいながら、
戦争に反対し、平和を守る活動に

どんなに力を注いだか、そして、
そのことと家族の幸せを願うこと

とが、どんなに固く結びついてい
たかが、まさに生きた証しとして

伝わってくるのである。

目をあわせ声かけながらピラ渡
す朝日に真向ういつもの位置で

わが顔に手をあてて熱をききく
れる君あれば早く癒えと思つ

(碓田のぼる)

魅力いっぱい第8回国連要請ツアー

今年のツアーはジュネーブの国連要請行動後、二コースにわかれて各地をめぐるります。

Aコースは初めてオランダを訪れます。ハーグでは一九〇七年に平和会議が開催された際に、日本の韓国侵略に抗議するために派遣された特使として、いわゆる「ハーグ密使事件」の渦中で憤死した李儒(イ・ジュン)の活動を記録した平和博物館を訪問。また日本軍の戦争犯罪の犠牲となったオランダ人の元「慰安婦」らの賠償を求めている「対日道義請求財団」を訪問し、懇談・交流を企画。アムステルダムでは、アンネの家や

レジスタンス博物館も見学します。

Bコースはポーランドを訪れ、クラクフ近郊のアウシュビッツ強制収容所跡の博物館見学、生存者で元副館長のスモレン氏のお話を伺います。首都ワルシャワではレジスタンスの歴史に触れ、また美しい旧市街の散策を楽しみ、シヨパンゆかりの地も訪ねコンサート鑑賞も予定しています。

旅行代金はA Bコースとも四六万八千円。お申込み・資料請求は富士国際旅行社・小野寺まで。電話〇三—三三三—三三七七、FAX〇三—三三三—三三七七

事務局日誌

3月16日 拡大三役・組織部会／国際部会

3月17日 第二回常任理事会／5・18国会請願めざし全同盟員の総決起を訴えるアピール採択／国家公務員へのピラ配付弾圧に対する抗議文採択

3月18日 第56回解放運動無名戦士合葬追悼会に参加(斉藤事務

局長ほか)

3月19日 不屈4月号企画編集

3月20日 国際共同行動芝公園集会に参加

3月22日 各都道府県本部に全同盟員むけアピールを送る

3月25日 ピラ配布弾圧事件抗議文を内閣総理大臣、警察庁長官、

国家公安委員長、月島警察署長宛に送付／国際人権活動日本委員会代表者会議(斉藤久枝他)

『治安維持法と現代』4月発売

時局問題を焦点に編集

学習・運動発展に役立つ内容

第七号では、時局問題を焦点に編集。

憲法問題では奥平康弘先生に、国民保護法批判は内藤功先生に執筆をおねがいしました。また、国民を内面から戦前回想させようと企む教育問題では、教育基本法をいまこそ生かすことの重要性和、「新しい教科書をつくる会」の最近の動向と狙いを深くとらえた論考を寄稿いただきました。

治安維持法時代の暗黒面をえぐりだした「横浜事件と人権」、野呂栄太郎、西田信之、上甲米太郎、さらに植民地台湾における日本帝国主義の支配と抵抗を調査・研究した論文を掲載しました。

現政権がアメリカ力の戦争参加に走るなか、「回想・太平洋戦争」を特集。「話題を読む」欄には五氏がそれぞれ興味ある話題を提供しています。

四月中旬発行。国会請願、参議院選挙と多忙をきわめる時期ですが、内外への普及と学習に活用されることを期待します。

●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌

『治安維持法と現代』2004年春季号 4月中旬発売

【主な内容】打って出よう、日本国憲法もって！(奥平康弘氏)、「国民保護法」とは国民統制動員法(内藤功氏)の他、教育基本法に光を当てるとともに「つくる会」の策動を告発する論考を掲載。戦前の治安維持法弾圧では野呂栄太郎、西田信春、上甲米太郎を取上げる。戦争する国に突きすすむなか「回想・太平洋戦争」を特集。その他貴重な論文、文芸などを多彩に収録。

A 5版160頁、定価1000円 7270円。同盟各県本部でお求め下さい。

制作・治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

